

No. 66 >>> Contents

●トピックス

第8回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

農林水産大臣賞受賞者 下山菊夫・貞子夫妻

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一般財団法人大日本蚕糸会————— ①

福島県の養蚕事情から進化の兆しを見る

・・・福島県農林水産部生産流通総室園芸課 主幹（兼）副課長 奥谷陽之助————— ③

●海外情報

蚕糸絹業はどう“憂さ晴らし”する？

—中国シルク協会 2019 年度報告書より—

・・・・・・・・・・・・・・・・中和株式会社 代表取締役 潘 林龍————— ⑥

●研究・技術情報

遺伝子組換えカイコの経過と展望 1.

～農研機構の取り組みとしての「蚕業革命」～

・・・・・・・・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 領域長 桑名芳彦————— ⑨

養蚕調査農家との技術情報交換概要・・・・・・・・一般財団法人大日本蚕糸会————— ⑬

●蚕糸・絹業団体情報

群馬県立世界遺産センター

「世界を変える^{いと}生糸の力」研究所が誕生

・・・・・・・・群馬県立世界遺産センター 普及調査係 山洞吉規————— ⑮

●イベント情報————— ⑳

●一般財団法人大日本蚕糸会から

2020 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況————— ㉓

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧（2020- 第 1 次）————— ㉕

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌————— ㉚

●蚕糸絹関係博物館一覧————— ㉜

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧————— ㉞

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）————— ㉟

第8回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

農林水産大臣賞受賞者は、下山菊夫・貞子夫妻に決定

一般財団法人大日本蚕糸会

第8回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールへの出品数は、提携グループに属する養蚕農家が33点、農家団体が1点の合計34点であった。

今回は、新型コロナウイルスの影響による非常事態宣言に伴う外出自粛要請の中での審査となったことから、従来の審査会開催および現地調査による審査に代えて、各委員に審査書類を配布した上での書面審査を行い、この中から農林水産大臣賞1点、農林水産省生産局長賞1点、大日本蚕糸会会頭賞3点が選出された。

なお、5月15日（金）、蚕糸会館において開催予定であった表彰式は、後日、行うこととした。

農林水産大臣賞

下山菊夫・貞子夫妻

（山形県最上郡最上町）

下山夫妻は、夏季は養蚕と米、冬季はなめこ栽培の複合経営の中で、養蚕に主力を置いている。蚕飼育では、飼育の難しいフランス原産の蚕品種「セヴェンヌ」を年4回飼育し、計1,132kgの繭を生産し、全出品財の中で群を抜く繭収入をあげている。



農林水産大臣賞 下山菊夫・貞子夫妻

これは、実需者の要望に応えうる技術が高く評価されたものである。

また、飼育に関しては、「セヴェンヌ」は飼育経過や上簇期間が通常の蚕品種と異なるため、早口、中間、遅口の経過に応じて上簇期間の平準化を図るなど様々な工夫を行っている。

同夫妻は、第4回の本コンクールにおいて農林水産省生産局長賞を受賞しているが、「セヴェンヌ」という飼育の難しい蚕品種の飼育に挑み、実需者の要望に応えて、経営の安定を図っていることから、当時より格段の進歩が見られる。

農林水産省生産局長賞

福田芳男・佳世子夫妻（栃木県小山市）

福田夫妻は、養蚕と米との複合経営を行い、年5回の蚕飼育で繭生産814kgを上げ、反当たりの繭生産量は極めて高い。

飼育に関しては、栃木県が開発した「栃木式風洞簇中管理法」をいち早く取り入れ、上簇環境の改善に努め、繭品質の向上を図っている。

地域貢献として福田氏は、長年JAおやま養蚕部の副会長として地域の養蚕振興に積極的に取り組み、省力養蚕をモットーに安定した複合経営で地域の発展に貢献している。

また、妻の佳世子さんは、JAおやま女性会の役員として活躍するとともに、本場結城紬の継承に尽力している。

大日本蚕糸会会頭賞

狩野恵一・和子夫妻（群馬県前橋市）

狩野夫妻は、養蚕、米、露地野菜の複合経営農家で、経営的には養蚕と米がそれぞれ40%を占めている。蚕飼育は年5回行い、繭生産量は年間1,290kgと高い生産量をあげている。

蚕飼育においては、壮蚕期には多段循環飼育措置を用いて育蚕飼育作業の省力化に務めた。

狩野氏はJA養蚕協議会の役員として地域の養蚕振興、優良繭生産の向上に積極的に取り組んで地域の模範農家となっている。

大日本蚕糸会会頭賞

前原元・あい子夫妻（群馬県前橋市）

前原夫妻は、夏季は養蚕と米、冬季は椎茸栽培の複合経営農家で、繭収入の割合が全体の55%で、養蚕が経営の中心となっている。蚕の飼育は年4回、年間の繭生産量は983kgで、春蚕期には、原種「小石丸」の飼育を行い、実需者の要望に応えている。

また、普通蚕種の飼育においては、収繭後の繭選別を積極的に行い、選繭歩合0%を達成するなど高品質繭の出荷に努めている。

このように、当該地域において優良繭生産の模範となっている。

大日本蚕糸会会頭賞

瀧本吉良・京子夫妻（愛媛県大洲市）

瀧本夫妻は、養蚕と白ネギ、里芋、馬鈴薯生産の複合経営農家で、繭収入の割合が84%と養蚕中心の経営を行っている。

瀧本氏は91歳という高齢ながら、リーダーシップを取って京子さんと息子さんの協力を得ながら、年4回の飼育で1,068kgの繭生産をあげており、見事な養蚕経営を実践している。

また、生産した繭は、真綿生産等を通じて近江真綿布団に利用されており、提携グループ中で欠かせない養蚕農家となっている。

福島県の養蚕事情から進化の兆しを見る

福島県農林水産部生産流通総室園芸課

主幹（兼）副課長 奥谷陽之助

福島県の蚕糸業の歴史は、過去に寄稿した先輩が詳しく紹介していますが、最近の話題を披露しますと、NHKの朝ドラ「エール」の主人公で作曲家の古関裕而氏の生家跡の碑（JR福島駅東口から徒歩約10分）の斜め向かいに、開設121年の日銀福島支店があります。東北本線が開通したわずか12年後の明治32年（1899年）に東北地方で初めての支店が福島に開設されたのは、繭と生糸の流通を背景にしていたことはご想像どおりですが、同支店のwebで公開されているパンフレットによると、当時の金融需要が東北地方の中では群を抜いていることがよくわかり、繭と生糸の経済力に改めて驚くところです。

(<https://www3.boj.or.jp/fukushima/rekishi.pdf>)

1 現在の状況

私が「蚕糸」職で入庁した平成初期でも、ひのえまた檜枝岐村以外の全ての市町村に養蚕農家がありました。当然、随所に桑園があり、改植事業にも力を入れていました。それが令和元年度で養蚕農家34戸、生産量16tとなっており、桑園を探すことが難しくなっています。桑田滄海とはこのことでしょうか。

2 当県の蚕糸業の特徴

では、現状を俯瞰すると二つの特徴が見えてきます。

蚕糸業に関する蚕種製造所、稚蚕共同飼育所、真綿産業、織物産地までの各段階が揃っていることと、各蚕期ごとに共同選繭を行う仲の良いまとまりのある元気な産地がある点です。

共同選繭では出荷者同士が自分の繭を見せ合うことで、次蚕期に向けた改善点を確認することができます。作業の終盤には部長が時期に合った桑園管理のポイントなどを皆に話しかけ確認し合う一方、県蚕業技術員資格を持つJA職員が当年度の目標達成に向けて次蚕期の掃立数量、薬剤の注文を皆に声をかけながらまとめ、各部会員は次蚕期の全桑繭化を皆にコミットするといった場面が蚕期ごとに繰り返されています。

選繭台に繭を開ける時は、皆の視線が繭袋に集まります。流れ出る繭を真剣な眼差しで追い、（繭層量や乾燥歩合の差が作用するのでしょうか）選繭台に開けた時の音の違いを聞き分けながら、繭質の差を確認しているように見えます。



**写真1 川俣飯野地区で行われる繭出荷と
共同選繭の様子**
(選繭台に繭を開ける時の音や選繭の音は
日本の農村の「音の風景」だと思います。)

当県の特徴と位置付けたこれらを“未だに残っている作業風景”とするのは誤りです。現在この光景があるのは理由があるからで、それを掘り下げて正しく評価しないと蚕糸業だけでなく、農林業の将来すら見誤ると私は思います。端的に言うところ“残っている”のではなく“時代の変化に合わせて進化してきた”というのが正しいと思います。

個々の養蚕農家は複合経営の一作目として、桑園・蚕室といった資産と労働力、期待する収入のバランス等から選択しているのです。本来ならばU J I ターン者や定年帰農者など新規就農者にも春秋の年間2回以上可能な収入として紹介できるのではないのでしょうか。

とはいえ、その技術指導体制を整えることが喫緊の課題です。当県の蚕糸職職員は現在13名いるほか、条例による福島県蚕業技術員は25名が登録されています。このうち2名が令和元年度の登録試験に合格して登録しています。有資格者のJ A職員

が後継者となる若手職員に登録制度を紹介し、現場で学ばせながら資格取得に至りました。このような技術継承が必要ですが、参考テキストが15年以上更新されておらず、例えば専用薬剤の製造中止など、古い情報のままで、今後養蚕農家指導をするにあたり、拠り所となる教科書がありません。

3 改めて考えること

最近、職場の先輩から「退職後を考え断捨離を進めたら蔵から祖父母の代に使った蚕具が出てきた。ゴミに出す前に見に来ないか。」と声を掛けられたことがあります。

道具というのは使われなくなると名前も用途もわからなくなります。何故この形状となり、この寸法に統一された理由もわからなくなり、技術とともに忘れられ、ピラミッドやナスカの地上絵が建造の目的も工法も不明となったのと同じ道をたどるのでしょうか。



**写真2 農業協同組合発祥の地に近い霊山町の
農家からいただいた道具の数々。**
(検査済の焼き印が見られますが、どのような
機関が何を根拠にどのように検査し、認定した
のか私にはわかりません。
やがてアンティークなオブジェとして出品され
てしまうのでしょうか…)

私は一時期蚕糸を離れて数年間、首都圏に対して農産物や加工品の販路拡大を行ってきた中で蚕糸業にいくつかの可能性を感じていました。

1つ目は天然繊維に対する需要は常に一定程度存在し続けるということ。2つ目は農産物やその加工品の出所由来に興味があり、正しく理解したい購買層がいること。3つ目は物の購入が単なる消費行動ではなく、購入を通じた社会貢献、特に環境保全に意欲的な方がいることです。特に3つ目に関しては個人だけでなく企業のCSRなどでも見られます。

最近、某大学の卒業式で学長が「進化とは淘汰により選ばれた者が生き残るのでは

なく、変化を怖れず進んで変化して行く姿である。変化なくして革新は起こらない。変化の風を的確にとらえるセンスと、目まぐるしい変化に流されない真の革新者たれ。」とのメッセージを送られていました。例としてプロ野球投手として国内で成功ののち渡米したOBが、公式球の変化に合わせてられずに苦勞することが多いなか、見事に変化に順応して救援投手として成功していることを挙げられていました。

変化の風をとらえてきた革新者である当県の蚕糸関係の方々の取り組みに触れるたびに、今後の蚕糸業進化の糸口が見えるようで、五感が研ぎ澄まされる思いです。

蚕糸絹業はどう“憂さ晴らし”する？

—中国シルク協会 2019 年度報告書より—

中和株式会社

代表取締役 潘 林龍

シルク生産・輸出大国である中国のシルク輸出金額は、2019 年 1 - 10 月、前年同期比 4 割以上落ち、業界の下向の圧力は増大しています。この現状をどう「憂さ晴らし」をするのでしょうか？

中国シルク協会唐琳会長は、去年 12 月 20 日、重慶で《中新網》記者の取材にこの質問を受けた際、“高品質のシルクは依然として供給が不足しており、「処方箋」は現在の製品品質を向上させ、内需市場の潜在力を発掘し、科学技術でシルク新製品の発売を後押しすることである”と答えました。

2019 年度の中国シルク大会及び全国シルク協会第 7 回三次理事会が 12 月 20 日に重慶で開催されました。唐会長は、年度報告で「昨年 1 ~ 10 月、生糸生産量は 5 万 8,500 トン、真綿布団の生産量は 1,032 万枚になり、前年同期比いずれも減少した。絹織物生産高は 3 億 9,300 万メートルで、前年同期比 0.3% 微増した。しかしながら、生糸原料、絹織物、絹製衣服、シルク製品の輸出金額は二桁以上減少した」と語りました。

一方、2019 年 5 月中旬から、生糸の価格は底値を脱却し、相場は回復。高い時、28.5% の値上げに達し、主な生産地区の蚕繭買取り価格も上昇を呈していました。絹

織物は今まで主に輸出に頼っていましたが、今、輸出と内需が占める割合は約「六対四」の比率です。唐会長は、中国のシルク製品輸出量が減少したのは、主に世界経済の影響を受けたことによるものと報告しています。シルクのエンドプロダクトは主にアメリカと EU の地域に輸出され、糸などの原料類は主にインドに輸出されています。経済は停滞し、市場は弱含みであり、真絹及びその製品のハイエンド商品の相場は変動が大きいものがあります。国際市場は短期的に好転しにくいですが、ダウンフォースにどう対応するのでしょうか。唐会長はまず、「伝統的な 1 戸 1 戸の農家の養蚕生産方式を改良し、シルク全業界の自動化と産業化を高め、桑園の「農場化」、養蚕の「工場化」、絹織物の「知能化」を実現し、絹製品の競争力を高めることが重要と指摘しています。エルメスなど国際大手シルク企業が中国からシルクの原材料を大量に輸入しており、品質基準も高いですが、このような高級なシルクは供給量が足りません。次に、国内市場の潜在力をさらに発掘することです。国内の購買力は年々高まり、シルク商品も若者に好まれています。もちろん、蚕桑シルクの科学技術のレベルを高めていかなければならない。」としています。また、唐会長は「蚕糸蛋白を開発し、

桑樹棒を葉に入れ、蚕蛾を酒にし、桑葉を製茶した」などの例を挙げています。桑と蚕はすべてが宝物で、今後大いに開発の余地があります。

また、唐会長は2019年度中国シルク全事業報告で、三つの実績を報告しました。

A 産業構造調整は継続的に進められたこと

商務部の大規模化集約化蚕桑基地建設政策により、国家産業政策の誘導と財政の支援及び先進企業の主導で、産業構造は更に進展しました。広東省糸紡グループは広東省北部の「緑自然園」の開発に積極的に関与し、始興县政府と共に「蚕桑現代農業産業園」プロジェクトの建設を推進しています。浙江凱喜雅グループは雲南徳宏州にシルク紡織工業園を建設し、全産業チェーンを積極的に配置しています。浙江嘉欣シルクは広西宜州に繭糸倉庫貯蔵物流基地を建設し、ミャンマーへの衣類生産基地建設の投資を行い、絶えず供給チェーン体系を改善しています。江蘇蠡縁グループは四川宏和と新シルクロードなどの企業と連携し、四川宜賓、高県で絹織物の高品質融合発展プロジェクトを推進、文化創意製品の生産作業場と展示販売センターを新たに建設、一般的な普及品の健康生物科学技術産業を発展させています。広西恒業グループの五社製糸工場が柳城県で正式に稼働され、世界最大の製糸生産企業となりました。

B 業界の科学技術革新が著しい成果を挙げた

浙江理工大学（元浙江シルク工学院）陳文興校長が2019年の中国工程院の院士に当選

され、業界のハイレベル人材チーム育成が新たなステージに突入しました。また浙江凱喜雅、達利（浙江）、江蘇華佳、呉江などの企業が開発したシルク製品は、中国紡績連合会2019年度十大類繊維新製品「ファッション創意製品」、「非創意製品」の荣誉称号を獲得しました。また、蘇州太湖雪は、「2019年度中紡連製品開発貢献賞」を受賞。2019年度中国紡績連合科学技術賞の選考において、蘇州大学、蠡縁グループなどの関係者が「蚕の生物活性分析技術体系の確立と応用」プロジェクトを申請し、技術發明賞「一等賞」を受賞しました。また、中国シルク協会、凱喜雅グループ、蘇州大学などの組織が申請した国際基準に「生糸電子検査実験方法」とのプロジェクトや江蘇華佳など企業より申告の「フィブロインミクロナノ不織布キーテクノロジー及び量産化」プロジェクト、浙江理工學院が申告した「ネクタイアジャイル開発製品を生産し、高品質の機能性加工技術試験と普及」プロジェクトも、それぞれ科学進歩賞を受賞しました。

C 企業の知能製造レベルが新しい段階に入った

近年、知能製造が伝統的な生産方式、組織形態の系統的、全体的な変革を推進し、シルク産業のモデル転換とアップグレードに基礎と可能性を提供しています。浙江巴貝集団の全齡周年人工飼料の工場化養蚕は、蚕品種の育成、低コスト飼料の開発、疾病の予防と治療、環境制約、自動養蚕設備などの面で重要な知見を得ています。重慶祥飛グループが開発した養蚕の新設備は、養蚕の全プロセスの自動化、知能化制御を実

現しました。達利シルク（浙江）がAI工場
のプロジェクトを積極的に推進しており、
絹織物の機を担当する台数は従来の一人4
台から現在の一人30台までへ実現でき、
作業場のインテリジェント化管理を始めて
実現しました。万事利グループとマイクロ
ソフト社が共同開発した人工知能システム
も、シルクデザインと生産デジタル化の新
しい方式を実現し、第二回目の上海輸入博
覧会で国内外の高い関心を得ました。

報告書の結語で、唐会長は業界全体的に
見れば、2019年は極めて平凡な年であり、
業界が得たこれらの成績は目に見える部分
は少ないが、現在、国内外の経済の潜在的
なリスクと矛盾は絶えず増えており、業界
情勢の厳しさと複雑さを十分に認識し、難
関を越える長期的な準備を続けなければなら
ないと呼びかけました。

（以上の内容は中国シルク協会 2019 年
12月20日7期2回理事会報告書より整理）



中国シルク協会 2019 重慶年会で唐会長報告（左）と受賞企業



四川省武勝嘉陵江の安泰シルク集团有限公司桑園



達利シルク（浙江）有限公司無人化の撚糸工場

遺伝子組換えカイコの経過と展望 1.

～農研機構の取り組みとしての「蚕業革命」～

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
生物機能利用研究部門 新産業開拓研究領域 領域長 桑名芳彦

はじめに

2018年のシルクレポート誌に農研機構の町井博明顧問（当時）が「遺伝子組換えカイコの現状と今後の展望」というタイトルで当時の遺伝子組換えカイコを巡る状況を報告されています⁽¹⁾。また去年の12月には日本蚕糸学会の学会誌「蚕糸昆虫バイオテック」⁽²⁾や農林水産・食品産業技術振興協会発行の月刊誌「JATAFF ジャーナル」⁽³⁾で、遺伝子組換えカイコに関する取り組みが紹介される等、今遺伝子組換えカイコを巡る取り組みが注目されつつあります。ここでは前報から2年経った現在の遺伝子組換えカイコを巡る状況を、この2年間のうちに起きた新たな動きを、2回に分けてご紹介しようと思います。

農研機構における「蚕業革命」の推進

農研機構では、農研機構が開発した遺伝子組換えカイコに関する技術を活用し、「有用物質生産」と「新機能シルク」の2本柱を設定して研究開発を推進しています。日本の伝統産業である養蚕の技術を生かしつつ、カイコを医薬品原料などの有用物質生産のための昆虫工場として利活用したり、

これまでになかった新しい機能を有するシルクを生産するカイコ品種を育成したりして、研究成果を実用化（最近は「社会実装」と呼ばれることが多いです）し、新しい産業の創出につなげようというものです。18世紀にイギリスで起きた産業の変革である「産業革命」の「産」を「蚕」に置き換えて、養蚕業や蚕糸業を巡る新たな動きを称する用語として使っています。

本稿では、蚕業革命を巡る取り組みを中心に、カイコの遺伝子組換え関連の最新の動きをご紹介しようと思います。

カイコで有用物質を生産

カイコはシルク生産を目的として、長い時間をかけて家畜化や品種改良が進められてきた生き物です。一説には中国では4000年前からカイコが飼育されていたとも言われていますし、日本には弥生時代に中国から持ち込まれたとも言われています。シルクの主成分はフィブロインとセリシンの2つのタンパク質です。カイコはこのシルクタンパク質生産に特化した生き物として飼育されてきており、人が手をかけてエサ（桑葉）を与え、世話をしあげないと

生きていけない、高度に家畜化された特殊な生き物です。

上記のようにシルクはほぼタンパク質から成り立っています。タンパク質というのは生体の中で筋肉の元になるという意味で非常に重要な栄養分であり、我々の体を形作る主な成分の一つです。その中には抗体のように非常に重要な役割を担う機能を持ったタンパク質もあります。抗体は近年抗ガン剤などにも使われるようになり、「抗体医薬品」として医薬品の中でも生産量が増えています。これらのタンパク質は遺伝子組換え技術を用いて、主に哺乳類由来の培養細胞によって作られています。化学合成でなく生物によって作られていることから「バイオ医薬品」とも呼ばれています。2016年のデータですが、世界の医薬品売上高トップ10のうち、実に8品目がこれらバイオ医薬品で、うち5品目が抗体医薬品です。

遺伝子組換えカイコもタンパク質を作ることが得意ですし、医薬品市場は市場規模が非常に大きいので、将来的には遺伝子組換えカイコで抗体医薬品原料などを生産して一定の市場を獲得したいと我々は考えています。これまでの研究では、抗体医薬品の一種であるリツキシマブやトラスツズマブを遺伝子組換えカイコで生産した場合、哺乳動物由来の培養細胞による生産物よりも活性が高い、という実験結果も得られています⁽⁴⁾⁽⁵⁾。また、群馬県の免疫生物研究所はCURED社と共同でエイズ治療薬の原料を遺伝子組換えカイコを利用して製

造する技術開発を進めています⁽⁶⁾。遺伝子組換えカイコで抗エイズウイルス抗体を製造する計画で、約10億円を投じて群馬県前橋市内に医薬品原料を生産するためのGMPパイロットプラントを建設しています。「GMP」というのは医薬品を製造するための製造管理や品質管理を定めた約束事のことです。これまで遺伝子組換えカイコではヒト用医薬品原料を生産した前例がないため、免疫生物研究所では医薬品や医療機器の承認審査を行う医薬品医療機器総合機構(PMDA)と相談しながら進めているところです。実用化までには、バンク管理、人工飼料管理、飼育管理などいくつかの課題もありますが、一つ一つクリアしていけば決して届かない目標ではありません⁽⁷⁾。

カイコにおける2つの有用物質生産系

ところで、カイコによる物質生産系には大きく分けて2つの方法があります。一つは、前述のような遺伝子組換えカイコによる方法、もう一つはバキュロウイルスというウイルスをカイコに感染させてカイコの体内で有用なタンパク質を作る方法です。この2つはそれぞれ長所と短所がありますので、お互いに補完し合う関係と考えるのが良いでしょう。

遺伝子組換えカイコの長所は、一度系統を作り上げてしまえば、後はその系統を継代飼育することで同じタンパク質をずっと安定して作り続けることができ、飼育規模を変えればタンパク質の供給量を自在に決めることができる、という点でしょう。短



遺伝子組換えカイコに作らせたタンパク質を用いた
骨粗鬆症臨床検査薬

所としては、系統を作り上げるのに、卵への最初の遺伝子注入から半年ほどの時間を要するという点が挙げられます。一方バキュロウイルス系は、組換えウイルスが数週間程度の短期間で作製できる点、飼育最終齢に近い4歳や5歳のカイコや蛹にウイルスを接種し、1週間程度で組換えタンパク質を得ることから、細胞の増殖に悪影響を与えるような生理活性の強いタンパク質も生産できるといった長所を持っています。短所としては、生産の度にウイルスを接種しなければならないことや生産規模が大きくなった時にウイルス接種の手間が問題になる可能性、生産物に組換えウイルスが混入する可能性がある点が挙げられるでしょう。このようにバキュロウイルス系は多品種少量かつ短期間での生産に向いており、遺伝子組換えカイコは安定した組換えタンパク質を長期にわたって生産でき、生産規模の調整も自由自在、さらには繭で保管可能という特徴があります。

組換えカイコによる物質生産の実用化例としては、日東紡績・ニッソー・ボーメディカルによる骨粗しょう症診断薬や、免疫生



遺伝子組換えカイコに作らせたコラーゲンをを用いた
化粧品（左）と抗アミロイドβ抗体を用いた
アルツハイマー型認知症検査薬

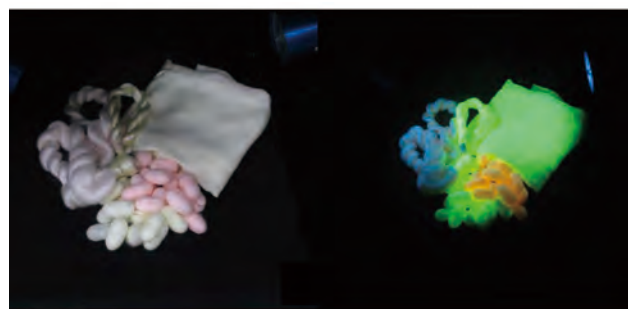
物研究所によるヒト型コラーゲン（化粧品原料として）やアルツハイマー型認知症検査に用いるアミロイドβ抗体、iPS細胞の培養に用いるラミニンなどの例があります。これらの製品は、大腸菌や哺乳類培養細胞などの他の生物生産系ではうまく作れなかった、あるいは作れたとしてもコストがかかる、などの理由で組換えカイコ生産系で作られたものです。これらの企業その他、リムコ（沖縄県）、アークリソース（熊本県、茨城県）などが農研機構からの技術移転により遺伝子組換えカイコによる物質生産の事業化を進めています。

またバキュロウイルス発現系による物質生産の実用化例としては、日本全薬工業や東レによる犬や猫などの動物用医薬品の例が挙げられます。最近では九州大学発のベンチャー企業 KAICO 社が、九州大学が保有するカイコの遺伝資源を活用してバキュロウイルスによる物質生産系を立ち上げ、様々な組換えタンパク質の生産に取り組んでいます。

新機能シルク

新機能シルク（「高機能シルク」と表現することもあります）とは、シルクに機能性タンパク質を融合するなどの手法で新たな機能を付与したシルクのことです。新機能シルクの例としては、紫外線や青色光を当てると青や緑の蛍光を発する蛍光シルクや、シルク自体のアミノ酸配列を変えることで染色性を向上させた高染色性シルクがあります。この高染色性シルクには偶然にも「糸が細くなる」という効果もあったため、実は世界で一番細い「超極細シルク」でもあります。その他にも抗体を融合したシルクや様々な機能を後付けできるシルクなどもあります。

緑色蛍光シルクについては、2017年から養蚕農家でも飼育することができるようになりました。包括的事業者と呼ばれる事業者が、蛍光シルク製品の企画や遺伝子組換えカイコの飼育計画等を策定し、農林水産大臣及び環境大臣から承認を受けた飼育要領を遵守して組換えカイコを飼育する旨の契約を農研機構と交わした上で、養蚕農家等と契約して飼育されています。現在は複数の事業者が飼育に取り組んでおり、近いうちに緑色蛍光シルクを使用した製品が世の中に出てくることが期待されます。緑色蛍光シルクに続くものとして、上記の高染色性（超極細）シルクを産生する遺伝子組換えカイコも養蚕農家で飼育できるように、現在手続きを進めているところです。



様々な蛍光繭と生糸、織布

(左) 通常の光の下で撮影

(右) 室内を暗くして青色 LED を照射し、
橙色フィルタを通して撮影

【参考文献】

- (1) シルクレポート、町井博明、「遺伝子組換えカイコの現状と今後の展望」、2018年4月号。
- (2) 蚕糸・昆虫バイオテック、特集「蚕業革命：カイコが拓く新産業」にあたって、Vol.88、No.3、2019
- (3) JATAFF ジャーナル、特集「カイコ・シルク新産業の創出に関する最新の研究動向」、Vol.7、No.12、2019
- (4) Tada, M. et al. (2015) MAbs, 7: 1138-1150.
- (5) Kuroguchi, M. et al. (2015) PLoS One, <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0132848>.
- (6) 株式会社免疫生物研究所 IR リリース (2018年3月16日) https://www.ibl-japan.co.jp/direct/topics/topics_pdf_download/topics_id=4947&disp=inline
- (7) 石井明子ら、(2019) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, 50(10): 615-627.

養蚕調査農家との技術情報交換概要

一般財団法人大日本蚕糸会

令和2年2月13日に東京・有楽町蚕糸会館において「養蚕調査農家との情報交換会」を開催しました。この会で、令和2年度の養蚕飼育に向けて質疑応答がありましたが、その中から技術ポイントについてご紹介します。

【質問1】

クワ胴枯病、クワシントメタマバエの防ぎ方

(対策)

- 1) 胴枯病については、ホルマリンでの防除（使用）が出来ませんので、対策としては、①耐病性の桑品種に改植又は新植する方法です。耐病性の品種としては「ゆきあさひ」、「ゆきまさり」があり、この品種は発根性が比較的良好なことから古条挿し木での増殖も有効です。また、胴枯病に強いと言われている「谷桑蚕技研」という桑も蚕業技術研究所で保存していますので利用が可能です。②夏秋蚕期での過度な収穫は樹勢を衰弱させ、発病を助長させますので避けるようにします。特に晩秋蚕期あるいは晩々秋蚕期の収穫時における深切りを避け、なるべく残葉を多くします。③殺菌剤である「ベンレート水和剤」が桑の胴枯病防除薬剤になっていますので試行して見ることも有効と考えられます。

「シントメタマバエ」の防除法については、この害虫の発生消長が土中で越冬した幼虫が6～7月頃に成虫となって出現し、暗くなってから桑の頂芽に産卵し、その幼虫が生長点を食害するため芯止まり状態になります。そこで防除法としては①幼虫が羽化する前に桑の株元へ「ダイアジノン粒剤」を散布します。②この害虫は乾燥に弱いので、地表面を湿潤にならないようにすることで発生を抑制できます。例えば、この時期（6～7月頃）の株元の除草などは大変有効な方法です。

【質問2】

蚕期中の桑園管理対策（特に除草対策と労力調整）
ヤブガラシとカラスウリの除草法

(対策)

- 1) 「ヤブガラシ」は蔓の繁茂が著しく、あっという間に桑樹を覆うほどになり、且つ枝に絡みつき収穫も困難になります。また、地下茎も縦横に伸びてその根の不定芽から次々と萌芽するので、ロータリー耕などでも蔓延させてしまいます。防除法としては地下茎を掘り取ることが良いのですが、とても困難です。そこで効率的な方法としては植物体内移行性の除草剤をスポット処理することをお勧めします。但し、散布する場合は、桑の生育時期でもありますので、その除草剤が桑葉に飛散（付着）しないよう細心の注意が必要です。
- 2) 「カラスウリ」も地下に塊根を形成し、繁茂が旺盛で桑樹に絡みつき収穫などにも支障をきたします。防除法としては地下の塊根を掘り取ることが良いのですが大変です。そこで効率的な方法として「ヤブガラシ」と同様に植物体内移行性の除草剤をスポット処理します。また、「ヤブガラシ」の場合と同様に、その除草剤が桑葉に飛散（付着）しないよう細心の注意が必要です。

【質問3】

硬化病の防除法（簡易な蚕体消毒）

(対策)

現状では、農薬扱いとなる蚕体消毒剤を新規に開発することが困難です。そのため、硬化病が多発しやすい晩秋蚕期以降は、「桑園の害虫管理」・「稚蚕人工飼料育の延長」・「消石灰粉末を用いた蚕体保護」による総合的な取組みで硬化病を防ぐしかありません。まず、桑園の害虫管理では、硬化病の原因となるスケバハゴロモやアメリカシロヒトリを対象に、適切な時期に農薬散布を行うこと（蚕業技術研究所（茨城県阿見町）では8月上旬～中旬に、エルサンやディプテレックスを散布する）。稚蚕人工飼料育では、起蚕直後の給桑時に硬化病菌に感染しやすいため、起蚕直後に一食人工飼料を与えて翌日以降に配蚕するか、余力があるならば配蚕ステージを変更してカイコへの硬化病菌の感染を遅らせること。配蚕後の桑育では、眠中に散布する消石灰の粉末を起蚕直後にも軽く散布して、起蚕の蚕体表面に硬化病菌が付着することを物理的に妨げる。これらの総合的な対策を導入しても硬化病が多発する場合には、現地調査による個別対応が必要です。

【質問4】

農家における選繭作業の注意事項（昨年の奇形繭多発の原因を踏まえて）

（対策）

選除繭（異常繭）は製糸原料として不適当なので、上繭と区別してしっかり除く必要があります。代表的な選除繭の種類としては、“薄皮繭”、“はふ抜け繭”、“外部汚染繭”、“内部汚染繭”、“玉繭”、“穴あき繭”、“奇形繭”、“簇着繭”などがあり（図1）、この他にも繰糸に向かない“極小繭”なども選除繭に含まれます。これらの選除繭が混ざって出荷されると、繭検定を行った場合に選除繭歩合が高くなり、出荷した繭の格付けが大幅に低下してしまいます。

選繭作業における注意点としては、簇を収繭・毛羽取り機にかける前に、選除対象となる繭を確実に除くこと、更に選繭台を使用して、繭袋に繭を納める前にもしっかり選繭することが必要です。このような手間をかけるための時間的な余裕を作ることも大切です。

選除繭のうち、飼育環境の改善や消毒作業で減らせるものは、内部汚染繭です。内部汚染繭の発生原因には、核多角体病ウイルスによるものと、高温の影響で化蛹できずに斃死・腐敗してしまう高温障害によるものがあります。春蚕期から毎年内部汚染繭が多発している場合には、核多角体病ウイルスの発生を疑う必要があります。この場合には、内部汚染繭のサンプルを蚕業技術研究所に送付してウイルスの可能性を確認後、農家の飼育環境に適した方法で蚕病防除を行う方が効果的です。内部汚染繭の発生が7～8月の夏期高温時にみられる場合には、高温による生理障害で内部汚染繭が発生している可能性が高いため、簇中温度が常時30℃を超えないように、上簇室内の環境を改善する必要があります。

内部汚染繭以外の選除繭については、どのような蚕品種についても一定頻度で発生するため、収繭後の選繭作業で除くことが前提となりますが、特定の選除繭が多発する場合には、何かの原因（農薬の影響等）で異常が起きていることもありますので、問題を放置せず、蚕業技術研究所にお問い合わせ下さい。

図1 選除繭とその成因

(図解養蚕・平成7年P103.全養連・蚕糸の光編・抜粋)



1) 薄皮繭

繭層の薄い繭。作柄の悪いときに多くでる。



2) はふ抜け繭

繭層の両端か一方の繭層が極端に薄い。品種による場合が多い。

壮蚕期の低温多湿、簇中の低温乾燥条件で出やすい。



3) 外部汚染繭

繭を作っているときや収繭の際に尿や死体の腐った液が繭層について汚れる。内部汚染繭から他の繭を汚すこともある。



4) 内部汚染繭（死ごもり）

繭の中で死んだ蚕が腐ったり、傷ついた蛹の液体で繭の内側から汚れる。成因の1つに核多核体病（NPV、膿病、うみ蚕）によるものと考えられる。



5) 玉繭（同功繭）

2頭まれに3頭の熟蚕が1つの繭を作る。繭層が厚くちじらがあらう。遺伝性が強いが、過熟蚕上簇、厚上げででる。



6) 穴あき繭

蚕品種による場合。カイコノウジバエの寄生やカツオブシムシの食害によっても生ずる。



7) 奇形繭

蚕品種に起因する場合が多いが、作柄の悪いとき簇の構造が不適なときにでる。



8) 簇着繭

板付き繭ともいい繭層に簇などの跡がついた繭、未熟蚕の上簇、簇の構造によってでる。

＜参考＞選除繭の種類とその障害について

http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/pdf/7-3_4_5setsu.pdf

（↑ 大日本蚕糸会のホームページ 蚕業技術研究所の「養蚕」第7章 第3節「異常繭」

選除繭は、その種類によらず大中節点及び小節点の低下の原因になるばかりでなく、その後の製糸及び製織等の工程における作業能率低下や織物欠点の原因になります。

1. 内部汚染繭による汚れは、生糸にも残り、また、精練しても残ります。そして、撚糸することにより、また強撚するとさらに落ちにくくなりますので、各種の織物欠点の原因となります。
2. 浮きしわ繭、薄皮繭、破風抜け繭、外部・内部汚染繭などは各種の節の集中発生の原因となります。
3. 特に、浮きしわ繭は大わ節、薄皮繭は小ずる節の多発の原因となるとともに、煮繭などその後の工程での除去は難しいので、選繭の段階で除くことが重要になります。
4. 奇形繭は、糸が切れやすく、大幅な解じょ率低下の原因となるとともに、長く滞留するとずる節多発の原因となります。

群馬県立世界遺産センター 「世界を変える生糸の力」研究所が誕生しました。

群馬県立世界遺産センター

普及調査係 山洞吉規

はじめに

群馬県にある、富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の4つの資産から構成される「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値や魅力をわかりやすく紹介するとともに、大学や民間の方と連携し、世界遺産のみならず、絹産業、絹に関する文化財等の研究に取り組み、総合的に情報を発信する施設が富岡市内に誕生しました。

施設の名称は、群馬県立世界遺産センターです。皆様に親しみをもって足を運んでもらえる場所となるよう『「世界を変える生糸の力」研究所』（略称：セカイト）という愛称を付けました。この愛称には、世界遺産の価値を端的に伝えるとともに、これからも研究を続け、訪れるたびにワクワクする場にしたいという願いを込めています。

皆様に親しみをもっていただけるよう、この原稿でも本施設を「セカイト」と記載させていただきます。

展示内容

各展示コーナーと内容は次のとおりです。

1 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」

世界遺産としての価値や世界的に見た絹産業の歴史・技術の発展などを紹介しています。



ロゴマーク

2 シアター

横約7.7m×縦約3mの大スクリーンで、稼働していた4つの資産を高精細CGで再現した映像を上映します。映像を見ていると、まるで稼働していた当時の資産にいるかのような雰囲気を楽しむことができます。

3 世界を変える4つの資産

富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の4つの資産の価値や現地での見どころをパネルと映像で紹介しています。プロジェクションマッピングの手法により富岡製糸場の建物の変遷を紹介したり、養蚕新論をめくりながら田島弥平の養蚕法を学ぶことができる映像があります。荒船風穴から吹き出す冷気の現在温度も紹介しており、暑い日には、セカイトを見た後に荒船風穴に涼みに行きたくなることでしょう。

また、「まゆだまテーブル」という繭のか



外観



世界を変える4つの資産コーナー

たちをしている展示では、高品質な生糸の大量生産に貢献した4資産の連携やそれぞれのつながりなどを楽しみながら理解できます。

4 ぐんまの絹文化

群馬県には、世界遺産の4つの資産だけでなく絹に関する文化や遺産などがたくさんあります。それらの群馬の絹文化についてぐんま絹遺産や日本遺産「かかあ天下-ぐんまの絹物語-」を中心に紹介しています。

5 絹の国ぐんま情報コーナー

セカイトを見た後に、世界遺産の4つの資産や絹遺産を見学していただくための情報や周辺の観光情報等を提供しています。

建物

セカイトは、富岡市が交流の拠点として整備を進める富岡倉庫の1号倉庫（明治43年（推定）に建設されたレンガ造りの倉庫）を改修した建物につくられています。富岡市が建物の改修を行い、その建物に群馬県が展示を整備しました。建物の改修の設計は、隈研吾建築都市設計事務所が行い、糸をイメージする炭素繊維を耐震補強に使っていることなどが特徴です。建物の歴史とそれを活かすための新しい技術の両方を感じていただくことができます。

調査研究・今後の展望

展示による情報発信だけでなく、富岡製糸場と絹産業遺産群や絹産業・絹に関する文化財等の調査研究に取り組むこともセカイトの重要な役割です。そのため、東京大学名誉教授の石井寛治先生に名誉顧問に就任いただいております。先生の助言・指導を受け、調査研究を推進していきます。

そして、調査研究の成果を情報提供し、情報発信をさらに充実させ、ここにくれば、「富岡製糸場と絹産業遺産群」のことは何でもわかるような場所にしていきたいと考えています。

■セカイトの情報

- ・住所 〒370-2316
群馬県富岡市富岡 1450-1
(上州富岡駅から徒歩約1分、
富岡製糸場から徒歩約10分)
- ・開館時間 9:00～17:00
- ・休館日 3月～11月 毎月最終水曜日※
12月～2月 毎週水曜日※
※祝日の場合は翌日
- ・問い合わせ先 群馬県立世界遺産センター
TEL: 0274-67-7821

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各 WEB サイトなどでご確認ください。

●駒ヶ根シルクミュージアム 第 53 回企画展

「2020 まゆクラフト作品展」

毎年、春の特別展として開催を続け、今回で 13 回を迎えます。一時期応募数が危ぶまれましたが、最高賞が市長賞から県知事賞へ格上げされたこと、協賛を募って副賞（記念品）の充実を図ったなどの甲斐がありまして、以前に増した技術の繭の花や人形が多く寄せられています。今回の作品展も是非ご注目いただき、多くの皆様のご来場をお待ちしております。（展示作品数 60 点以上予定）

〈会期〉 7 月 23 日（木）～ 8 月 18 日（日） 9:00～17:00（最終受付 16:30）

休館日：水曜日・祝日の翌日

（※中止の可能性があります。最新情報はHPでご確認ください。）

〈主催〉 駒ヶ根シルクミュージアム

〈会場〉 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地

Tel:0265-82-8381

<https://komagane-silk.com>

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「運ぶ。蚕糸業を支えたモノの流れ」

繭を、生糸を、石炭を、人を運ぶ。電信・電話で情報を伝える。岡谷が日本一の製糸業地となった背景には、インフラの整備とともに様々な「運ぶ」がありました。運ぶことで見える産業の発展の姿をご覧ください。

〈会期〉 2 月 27 日（木）～ 10 月 25 日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

（※会期を延長しました。最新情報はHPでご確認ください。）

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや—

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel:0266-23-3489

E-mail:hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

<http://silkfact.jp/>

●日本絹の里 第 93 回特別展

「学ぼうカイコ」

カイコの飼育量が全国一である群馬県。そんな群馬県にふさわしい施設としてこども達に、カイコの生態から飼育方法など、カイコのいろいろなひみつを紹介します。

〈会期〉 7月18日（土）～8月31日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel:027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 第 46 回企画展

「首里織展 ―あけもどろに染まる美ら布―」

沖縄の気候風土に育まれた多種多様な琉球織物で、紋織から絣に至るまで多彩に織られるのが首里織の特徴です。首里に伝わる洗練されたデザイン、繊細な織、華麗な色などが特徴の首里織について紹介します。

〈会期〉 9月10日（木）～11月3日（火・祝） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel:027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

『カイコの科学』（日本蚕糸学会編）刊行

カイコ、養蚕、そして絹について、素朴な疑問から最先端の知見まで95のトピックスを紹介したカイコの総合テキスト、応用生物学への入門書として、養蚕学の手頃な総覧として、また生物学を教える人のための「ネタ帳」としても充実の一冊です。

詳しくは下記 URL の注文フォームをご覧ください。

<https://pro.form-mailer.jp/lp/d3ab0a90197345>

2020年6月新刊

朝倉書店

カイコの科学

日本蚕糸学会 [編]

- A5判 224頁
- 定価(本体3,400円+税)
- ISBN978-4-254-42043-2 C3061



カイコ、養蚕、そして絹について、起源から最新の話までを95のトピックスで紹介。カイコとシルクのすべてがわかる一冊！

—本書では、カイコを通して眺めたさまざまな「世界」が示されている。
…(中略)…本書でカイコ研究の基礎から応用展開・機能利用につながる多くのストーリーをご覧ください、カイコという一つの昆虫種の成り立ちや研究の現状と近未来について、広く一般の読者の方々に受け止めていただければ、著者一同望外の喜びである。
(はしがきより)

目次

第1章 カイコの起源と養蚕 (編集: 梶浦善太・伴野 豊)
日本とカイコ / 多様なカイコの種類 / …

第2章 遺伝のはなし (編集: 門野敬子・嶋田 透)
トランスクリプトーム / DNA が動く / カイコは眠る / …

第3章 カイコのくらしと体のしくみ (編集: 東 政明・塩見邦博)
桑葉を食べるしくみ / 体色と顔色のはなし / …

第4章 カイコの病気から学ぶ (編集: 池田素子・伴戸久徳)
白きょう病の研究 / 昆虫ウイルスで害虫退治 / …

第5章 クワの利用形態とカイコの飼育 (編集: 朝岡 潔・町井博明)
クワ作りは株作り / クワの多用途利用 / …

第6章 カイコの機能利用 (編集: 日下部宣宏・森 肇)
カイコを食べる / カイコを使って農業を開発する /
カイコでアルツハイマー病を治す / …

第7章 シルクの利用—現在・過去・未来— (編集: 玉田 靖・寺本英敏)
日本の近代化を支えた養蚕 / 繊維の女王シルク / 糸だけじゃないシルク / …

第3章 カイコのくらしと体のしくみ

3.1 カイコの生活環とその特徴

生物の一生の発生・成長過程を「生活環(もしくは生活史)」という。生物はそれぞれ異なる生活環をもち、そこには各生物種がもつ体の生理的・生態的適応が反映されている。カイコはシルクを得るために家畜化された昆虫であり、やはり昆虫に共通する体のしくみと、カイコに特徴的なしくみをあわせてみる。

カイコの生活環には、卵・幼虫・繭・成虫の4段階があり(図1)、このうち成虫の発育段階は完全変態昆虫とよばれ、幼虫の成虫への移行は完全変態とよばれる。繭を吐いて成虫になるまでの期間は、繭の質や飼育条件によって異なるが、通常は約2週間程度である。

成虫の成虫は、クワの葉を食べ、桑葉の栄養分は、中腸で消化・吸収され、血液を介して各組織・器官へ運ばれる。成虫は、ヒトのような骨や血管をもたず、体は外骨格と体節構造で支えられ、血液で満たされた内部に組織・器官が浮いたような状態で存在する。そして、供給された栄養分をもとに代謝過程で生じた状態が存在する。そして、供給された栄養分をもとに代謝過程で生じた状態が存在する。そして、供給された栄養分をもとに代謝過程で生じた状態が存在する。

22 シルクレポート 2020. 7

2020 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2020 年度第 1 次審査委員会を 2020 年 5 月 29 日（金）に開催しました。今回の申請は 6 者で、使用許諾されている 6 者のうち製品の追加 2 者 2 品目、履歴の追加 1 者 1 品目、数量の追加 4 者 8 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、6 者 11 品目に対し、6 月 5 日（金）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(製品の追加) (株) 丸万中尾 代表者名：中尾浩祥 (担当者：中尾浩祥) 〒 526-0835 滋賀県長浜市室町 180 番地 TEL：0749-62-1660 表示者登録番号 028	後染反物（訪問 着、付下、色無地）	40 反	蚕品種 新小石丸 繭生産 有坂啓重・萩原武志・真下弘 製 系 碓氷製糸（株） 製 織 羽賀織物 染 色 千切屋（株）
(製品の追加) (有) 綵巧 代表者名：室門恒明 (担当者：室門耕一郎) 〒 603-8322 京都市北区平野宮本町 85 番地 TEL：075-461-5394 表示者登録番号 231	先染反物	200 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 系 碓氷製糸（株） 染 色 足利染工 製 織 自社
(履歴・数量の追加) (株) やまと 代表者名：矢嶋孝行 (担当者：夏目祐子、野出武伸) 〒 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-3 TEL：03-3354-0345 表示者登録番号 059	(履歴の追加) 白生地表地 (加賀友禅用)	750 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市・JA 北群渋川 ・JA 太田市・JA あがつま ・JA 碓井安中管内養蚕農家 製 系 碓氷製糸（株） 撚 系 岩城建一、弥栄撚糸、 製 織 大橋撚糸工場、赤田撚糸工場 江原産業（株）
	(数量の追加) 先染帯地（袋帯） (特例)	20 本	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 系 碓氷製糸（株） 染 色 (株) 今江染色 製 織 (有) 織匠小平

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：土井芳文) 〒 370-0006 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 TEL：027-361-2377 表示者登録番号 021	白生地（変り一越 ちりめん）	30 反	制作企画 絹小沢（株） 蚕品種 新小石丸 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸（株） 製織 南久ちりめん（株） 精練加工 浜縮緬工業（協）
(数量の追加) (株) 伊と幸 代表者名：北川幸 (担当者：北川幸) 〒 604-8176 京都市中京区御池通室町東入竜池町 448-2 TEL：075-211-2361 表示者登録番号 035	白生地（帯地）	11 本	蚕品種 松岡姫 繭生産 JA ふくしま未来管内養蚕農家 製糸 松岡（株） 製織 奥田重之織物
	白生地（表地（色 無地・喪服用無 地意匠））	44 反	蚕品種 松岡姫 繭生産 JA ふくしま未来管内養蚕農家 製糸 松岡（株） 製織 江口機業（株）
(数量の追加) 那覇伝統織物事業協同組合 代表者名：赤嶺真澄 (担当者：粟国美那子) 〒 903-0822 沖縄県那覇市首里桃原町 2-64 TEL：098-887-2746 表示者登録番号 156	先染反物 （首里織）	64 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 太田市管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸（株） 染織 自組合
	先染帯地 （首里織）	92 本	
	かりゆしウェア （首里織）	20 枚	
	シヨール （首里織）	105 枚	

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2020 年度第 2 次：2020 年 8 月 26 日（水）
純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2020 年 7 月 22 日（水）

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、廣瀬、小林

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2020年6月5日(2020-第1次)現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(袷紗)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯)、先染反物(御召類)、後染反物(色無地)、先染帯地(袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウォーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、 白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物（色無地、黒紋付）
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物（色無地、黒紋付）
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物（色無地、訪問着）、白生地（表地、胴裏、帯地）、 白生地（表地（天蚕糸交織））、白生地（帯地（天蚕糸交織））、 婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物（色無地、黒紋付）
038	(株) 桝屋高尾	京都市北区	先染帯地（袋帯）
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物（色無地、黒紋付）、白生地（表地）
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物（色無地、黒紋付）
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）、白生地（結城紬）
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地（金銀糸が5%を超える）、 先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、ストール
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物（紋組、緋）、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物（色無地（変三越、駒組））
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物（色無地、黒紋付）
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）、 白生地（加賀友禅用）、先染着尺（加賀友禅用）、和装小物 （帯揚げ）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚げ)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
086	丸専第一衣料 (株) (丸専きもの)	新潟県長岡市	胴裏 (パールトーン加工)
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世さね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市長区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ、袱紗
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物 (色無地、付下)
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福純織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品（布団、膝かけ）、ショール
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））、ニット（靴下）
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物（置賜紬）、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物（大島紬）、先染帯地（大島紬）
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地（八寸名古屋帯）
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット（腹巻、靴下）
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物（小紋（変一越））
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏（パールトーン加工）
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物（小紋（変一越））
185	マテリアル ロープ 磨	東京都練馬区	後染反物（小紋（変一越））
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、訪問着）、先染反物（絣着尺）、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地（表地）、帯締、羽織紐、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地（表地、夏物表地）
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット（スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー）
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物（綾御召（男物、女物）、市松綾御召（草木染め）、もじり織（草木染）、もじり織）、裏地（紬八掛、駒八掛）、先染ストール（綾織草木染、もじり織草木染）
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物（小紋（変一越））
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	ストール、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物（ぼかし着尺）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地)
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 12 マルキ)
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	ストール
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大酬	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	ニットストール
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 66 (R2.4.1 ~ R2.6.30)

新型コロナウイルスの影響のため、下記の理事会、審査会等を書面議決により行っております。

活 動 内 容 等
第 8 回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール審査会
第 1 回蚕糸褒賞等選考委員会（貞明皇后研究助成の選考）
第 2 回蚕糸褒賞等選考委員会（蚕糸功労者の選考）
令和元年度蚕糸絹文化振興対策事業第 1 回審査会
純国産絹マーク審査委員会（2020 年度第 1 次）
大日本蚕糸会通常理事会
大日本蚕糸会定時評議員会

【訂正とお詫び】

●前号、「シルクレポート 2020. 4 月号」No. 65（令和 2 年 4 月 1 日発行）表紙目次及び『統計資料・国内（4）蚕期別、都道府県別養蚕農家戸数（岐阜県・全国計）』に誤りがありましたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。

表紙目次 研究・技術情報

下記、3 行削除

全国シルクビジネス協議会 新規用途分科会の活動

・・・・・・・・東京農工大学大学院工学研究院 准教授 中澤靖元

蚕糸・絹業団体情報

統計資料・国内（4）蚕期別、都道府県別養蚕農家戸数

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	2018 年	2019 年	前年 対比	2018 年	2019 年	前年 対比	2018 年	2019 年	前年 対比	2018 年	2019 年	前年 対比
誤) 岐阜県	6	4	66.7	—	—	—	8	4	50.0	9	4	44.4
全国計	254	229	90.2	179	153	85.5	262	221	84.4	293	259	90.1
正) 岐阜県	6	8	133.3	—	—	—	8	7	87.5	9	9	100.0
全国計	254	233	91.7	179	153	85.5	262	224	85.5	293	264	90.1

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
蚕糸科学研究所展示室	169-0073	東京都新宿区百人町 3-25-1	03-3368-4891
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064

名 称	〒	住 所	電 話
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050

名 称	〒	住 所	電 話
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMS (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府織物・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
(一財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

【学会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県 企画部 世界遺産課
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/ja>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量		○		
(4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	40
(2) 養蚕農家数の推移	41
(3) 繭生産数量の推移	42
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	43
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	44
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	45
(12) 製糸工場の操業状況	46
(13) 生糸在庫数量の内訳	47
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	48
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	49

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	51
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量	
(4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	52

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次（暦年） Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000 (H12)	3280.0	1244.0	379.0	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 (13)	2730.0	1031.0	378.0	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 (14)	2360.0	880.0	372.9	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 (15)	2070.0	780.0	377.0	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 (16)	1850.0	683.0	369.0	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 (17)	1591.0	626.0	393.0	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 (18)	1345.0	505.0	375.0	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 (19)	1169.0	433.0	370.0	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 (20)	1021.0	382.0	374.0	1.6	6	80	38.1	14,043
2009 (21)	915.0	327.0	357.0	1.2	6	60	33.6	9,955
2010 (22)	756.0	265.0	351.0	0.9	7	49	35.9	3,611
2011 (23)	627.0	220.0	351.0	0.7	7	52	34.7	3,152
2012 (24)	571.0	202.0	354.0	0.5	7	35	33.3	2,912
2013 (25)	486.0	168.0	345.7	0.4	9	31	32.0	2,940
2014 (26)	393.0	149.0	379.1	0.4	9	34	—	2,734
2015 (27)	368.0	135.0	366.8	0.4	8	30	—	2,316
2016 (28)	349.0	130.0	372.5	0.3	8	26	—	2,243
2017 (29)	336.0	125.0	372.0	0.3	8	28	—	2,195
2018 (30)	293.0	110.0	375.4	0.3	8	46	—	2,113
2019 (R1)	259.0	92.0	355.2	0.3	8	37	—	1,931
前年比(%) 2019/2018	88.4	83.6	94.6	100.0	100.0	80.4	—	91.4

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び（一財）大日本蚕糸会調査、2011年以降は（一財）大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は（一財）大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は（一社）日本絹人織機物工業会調査である。

（注）2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

（注）製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit：number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
2013		486	422	260	399
2014		393	359	230	328
2015		368	323	221	313
2016		349	310	209	310
2017		336	307	201	280
2018		293	254	179	262
2019		259	229	153	221
前年比(%)					
2019/2018		88.4	90.2	85.5	84.4

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 年次 Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	355	153	144	158
前年比(%) 2019/2018	83.6	85.4	91.7	76.1	94.6	94.7	107.2	90.2
2019年 構成比(%)	100.0	38.0	23.9	38.0				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,180	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,712	15,844	426	6,662	5,431
2014	446	8,235	14	8,726	1,653	14,820	330	6,098	5,125
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2018 - 1	25	778	0	728	1,822	1,200	19	453	312
2	24	401	0	510	1,737	798	11	342	325
3	28	496	0	600	1,661	1,080	22	241	510
4	24	0	0	145	1,540	929	15	356	436
5	34	926	0	791	1,709	1,127	9	368	394
6	29	348	0	439	1,647	941	11	357	455
7	24	348	0	387	1,632	788	13	339	426
8	23	423	0	518	1,560	706	16	355	352
9	32	184	1	300	1,475	817	46	296	375
10	33	431	0	499	1,440	936	24	408	443
11	29	346	0	496	1,319	953	15	343	413
12	34	358	0	381	1,330	819	12	291	412
2019 - 1	25	382	0	382	1,355	855	18	486	362
2	27	358	3	399	1,338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1,524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1,278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1,428	1,033	19	310	369
6	22	301	0	307	1,444	834	8	359	389
7	23	392	0	418	1,441	922	14	395	417
8	11	427	0	430	1,449	1,104	12	280	378
9	28	390	0	496	1,371	932	8	325	380
10	21	386	1	301	1,476	911	12	278	406
11	24	446	0	530	1,416	974	12	330	404
12	25	304	0	316	1,429	855	19	387	351
2020 - 1	20	549	0	635	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	172	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	788	1,342	962	37	262	255
4	—	—	0	—	—	662	15	233	398

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～） (B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D)と(E)は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010.4～2012.11）、Central Raw Silk Association（2012.12～2018.10）. The Dainippon Silk Foundation（2018.11～）
(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④			
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	輸 出 Export				内 需 Domestic Demand ②-③	
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total						生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn		織 物 Fabrics		二 次 The Second
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113			
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113			
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105			
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100			
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85			
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84			
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77			
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71			
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63			
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47			
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43			
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47			
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46			
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45			
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45			
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45			
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45			
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45			
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45			
2019	186	45	0	141	5	11	8	117	141	25	0	0	10	15	116	45			
前年比(%) 2019/ 2018	91	100	—	88	96	98	95	87	88	97	—	—	97	97	87	100			

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2010		240	299	263
2011		189	162	237
2012		185	209	183
2013		142	137	188
2014		128	158	158
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2018	- 1	0	9	94
	2	2	8	88
	3	0	11	77
	4	0	8	69
	5	0	12	57
	6	18	10	65
	7	20	8	77
	8	9	8	78
	9	0	11	66
	10	36	11	91
	11	8	10	89
	12	0	11	78
2019	- 1	2	9	71
	2	0	10	61
	3	0	9	52
	4	0	7	45
	5	0	7	38
	6	18	8	48
	7	13	8	53
	8	14	4	63
	9	0	9	54
	10	22	8	68
	11	16	9	75
	12	4	9	70
2020	- 1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47

資料：農林水産省生産局（～2010. 3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）

中央蚕糸協会（2012. 12～2018. 10）（一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.

Central Raw Silk Association（2012. 12～2018. 10）. The Dainippon Silk Foundation（2018. 11～）

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2010	7	118	58	49	247	73
2011	7	110	57	52	252	65
2012	7	110	39	35	243	56
2013	9	110	38	31	249	57
2014	9	110	38	34	261	58
2015	8	110	33	30	263	53
2016	8	110	29	26	267	55
2017	8	110	31	28	266	59
2018	8	74	34	46	253	57
2019	8	74	27	37	239	51
2018 - 1	7	74	37	50	16	58
2	6	74	28	38	19	48
3	6	74	23	31	24	48
4	5	74	25	34	22	39
5	6	74	43	58	21	49
6	8	74	34	46	24	61
7	8	74	31	42	22	59
8	7	74	40	54	17	53
9	7	74	37	50	22	56
10	7	74	34	46	24	61
11	7	74	35	47	22	61
12	7	74	35	47	20	57
2019 - 1	7	74	36	49	20	56
2	6	74	36	49	20	52
3	7	74	34	46	21	56
4	6	74	21	28	20	42
5	6	74	19	26	21	42
6	7	74	26	35	21	45
7	7	74	23	31	18	46
8	7	74	14	19	17	45
9	7	74	32	43	21	51
10	8	74	28	38	20	54
11	8	74	31	42	20	54
12	7	74	28	38	20	51
2020 - 1	7	74	32	43	19	50
2	7	74	26	35	20	49
3	7	74	27	36	22	49

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
2010		3,329	319	2,354	656
2011		2,456	288	1,651	517
2012		2,180	124	2,056	
2013		1,712	110	1,602	
2014		1,653	78	1,575	
2015		1,410	94	1,316	
2016		1,406	130	1,276	
2017		1,747	156	1,591	
2018		1,330	230	1,100	
2019		1,429	238	1,191	
2018 -	1	1,822	156	1,666	
	2	1,737	158	1,579	
	3	1,661	166	1,495	
	4	1,540	161	1,379	
	5	1,709	174	1,535	
	6	1,647	184	1,463	
	7	1,632	182	1,450	
	8	1,560	188	1,372	
	9	1,475	199	1,276	
	10	1,440	216	1,224	
	11	1,319	219	1,100	
	12	1,330	230	1,100	
2019 -	1	1,355	230	1,125	
	2	1,338	246	1,092	
	3	1,524	239	1,285	
	4	1,278	236	1,042	
	5	1,428	239	1,189	
	6	1,444	245	1,199	
	7	1,441	242	1,199	
	8	1,449	238	1,211	
	9	1,371	239	1,132	
	10	1,476	233	1,243	
	11	1,416	238	1,178	
	12	1,429	238	1,191	
2020 -	1	1,410	196	1,214	
	2	1,391	178	1,213	
	3	1,342	178	1,164	

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(18) 絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics

(単位：1,000m²)
(Unit: 1,000sq. meters)

年 月 Year & Month	品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
			広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の
			計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
暦 年 Calendar Year										
2010		3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694
2011		3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711
2012		2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677
2013		2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703
2014		2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628
2015		2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016		2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017		2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018		2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019		1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2018 -	1	168	98	52	4	42	41	20	22	28
	2	175	100	52	3	44	46	22	24	29
	3	176	89	55	3	31	51	25	26	36
	4	190	104	54	4	46	51	25	26	35
	5	188	101	51	4	46	48	23	25	39
	6	194	102	50	4	48	54	24	30	38
	7	170	88	49	4	35	47	22	25	35
	8	157	84	48	4	33	43	20	23	29
	9	156	83	52	4	27	46	22	24	27
	10	182	101	55	4	42	51	23	27	31
	11	181	101	51	4	46	50	24	26	29
	12	177	100	49	4	47	51	23	29	27
2019 -	1	155	89	46	4	39	41	19	22	26
	2	171	97	52	4	42	45	22	23	29
	3	162	90	53	4	34	46	22	24	26
	4	173	98	53	3	42	46	23	24	29
	5	176	107	50	3	55	44	20	25	24
	6	167	95	50	4	41	46	21	26	26
	7	164	94	49	4	42	45	21	24	25
	8	136	78	41	4	33	38	17	21	19
	9	147	82	42	3	37	42	18	24	23
	10	160	92	47	3	42	45	21	25	22
	11	163	96	44	4	48	46	21	25	21
	12	157	94	48	3	43	43	19	24	20
2020 -	1	132	75	42	2	31	37	16	21	19
	2	136	75	43	2	29	40	19	21	21
	3	145	81	48	2	31	43	19	24	22
	4	136	78	44	2	31	40	20	20	18

資料：(一社)日本絹人織織物工業会

備考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks: Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

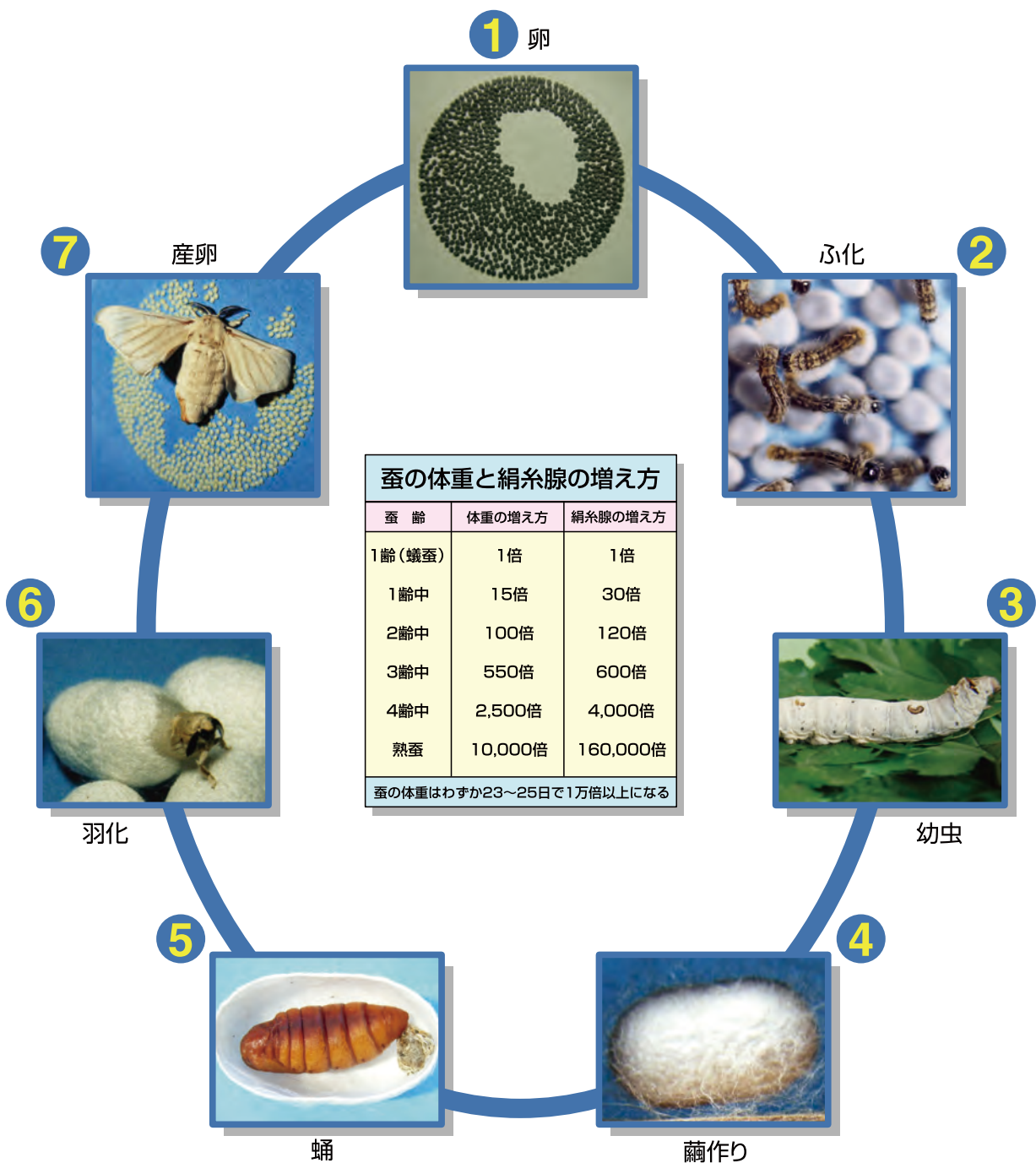
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2010	3,611	36.3	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	3,152	87.3	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	2,912	92.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	2,940	101.0	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2014	2,734	93.0	400,192	92.3	53,174	95.3	600,917	95.3
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2018 - 1	168	104.3	17,326	90.3	3,005	110.4	35,097	87.1
2	175	102.3	25,063	99.0	2,912	108.7	36,007	95.5
3	176	94.1	23,373	99.3	3,289	104.9	40,384	95.3
4	190	101.6	25,842	91.1	3,243	102.9	41,773	98.8
5	188	103.3	20,935	91.9	3,345	105.9	37,871	86.2
6	194	94.6	27,319	96.3	2,820	91.1	35,102	81.4
7	170	93.4	25,225	96.2	3,376	104.9	32,378	92.4
8	157	96.9	19,518	100.4	2,621	98.8	29,797	96.2
9	156	92.9	25,448	96.2	2,708	89.1	29,607	75.4
10	182	93.8	22,919	91.1	3,137	99.1	39,136	101.7
11	181	91.0	25,178	105.2	3,047	99.9	32,662	78.8
12	177	88.9	24,012	93.5	2,813	88.9	36,982	86.7
2019 - 1	155	92.3	15,850	91.5	2,510	83.5	31,925	91.0
2	171	97.7	24,978	99.7	2,783	95.6	32,095	89.1
3	162	92.0	21,859	93.5	2,728	82.9	34,578	85.6
4	173	91.1	23,299	90.2	2,616	80.7	33,794	80.9
5	176	93.6	14,796	70.7	2,526	75.5	33,197	87.7
6	167	86.1	25,926	94.9	2,523	89.5	34,972	99.6
7	164	96.5	21,364	84.7	2,364	70.0	28,371	87.6
8	136	86.6	16,997	87.1	1,808	69.0	28,344	95.1
9	147	94.2	24,336	95.6	2,194	81.0	34,001	114.8
10	160	87.9	19,204	83.8	2,007	64.0	28,356	72.5
11	163	90.1	22,989	91.3	1,849	60.7	30,119	92.2
12	157	88.7	21,831	90.9	1,676	59.6	30,678	83.0
2020 - 1	132	85.2	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	136	79.5	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	145	89.5	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	136	78.6	18,393	78.9	1,172	44.8		
5			12,661	85.6	669	26.5		

資料：絹織物生産数量は(一社)日本絹人織物工業会 主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2010年	2011年	2012年
		トン	トン	トン
日本	Japan	265	220	202
中国	China	621,000	661,000	655,000
インド	India	131,924	139,871	144,434
ウズベキスタン	Uzbekistan	23,942	24,667	25,012
イラン	Iran	9,780	10,208	10,637
タイ	Thailand	4,650	4,580	4,580
ブラジル	Brazil	4,439	3,037	2,620
ベトナム	Vietnam	2,570	2,500	2,500
北朝鮮	North Korea	1,016	900	900
トルコ	Turkey	126	151	134
ブルガリア	Bulgaria	75	48	73
インドネシア	Indonesia	161	143	143
シリア	Syria	3.0	5	6.0
主要国の計	Total	799,951	847,330	846,241

区 分		2013年	2014年	2015年
		トン	トン	トン
日本	Japan	168	149	135
中国	China	643,000	641,000	628,000
インド	India	142,487	164,538	157,524
ウズベキスタン	Uzbekistan	26,455	25,000	27,237
イラン	Iran	11,065	11,493	12,538
タイ	Thailand	4,755	4,839	4,881
ブラジル	Brazil	2,608	2,563	2,544
ベトナム	Vietnam	2,500	2,495	2,515
北朝鮮	North Korea	900	857	937
トルコ	Turkey	121	80	75
ブルガリア	Bulgaria	73	65	65
インドネシア	Indonesia	114	71	57
シリア	Syria	5.0	5.0	3.0
主要国の計	Total	834,251	853,155	836,511

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用した。

注2 生糸生産量からの推計を含む。

Note:1Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2As the figures of Vietnam(since2004) is not reported ,that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2020年2月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	113.50 ~ 123.50	1,816 ~ 1,976
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	126.50 ~ 148.50	2,024 ~ 2,376
3	玉繭(double cocoon)		111.50 ~ 126.50	1,784 ~ 2,024
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	89.25 ~ 99.25	1,428 ~ 1,588
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	371.75 ~ 381.75	5,948 ~ 6,108
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	376.75 ~ 386.75	6,028 ~ 6,188
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	368.75 ~ 403.75	5,900 ~ 6,460
8	玉糸(doupion silk)	110d	362.75 ~ 382.75	5,804 ~ 6,124
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	33.50 ~ 42.25	536 ~ 676
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	56.75 ~ 64.75	908 ~ 1,036
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.75 ~ 50.25	780 ~ 804
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.75 ~ 43.75	620 ~ 700

注:1元=16円

2020年3月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	107.00 ~ 117.25	1,605 ~ 1,759
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	120.00 ~ 142.00	1,800 ~ 2,130
3	玉繭(double cocoon)		105.00 ~ 120.00	1,575 ~ 1,800
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	83.00 ~ 95.00	1,245 ~ 1,425
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	351.00 ~ 361.00	5,265 ~ 5,415
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	356.00 ~ 366.00	5,340 ~ 5,490
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	348.00 ~ 383.00	5,220 ~ 5,745
8	玉糸(doupion silk)	110d	342.00 ~ 362.00	5,130 ~ 5,430
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	31.25 ~ 39.25	469 ~ 589
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	53.75 ~ 61.75	806 ~ 926
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	45.75 ~ 47.25	686 ~ 709
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	35.75 ~ 40.75	536 ~ 611

注:1元=15円

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2020年4月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	88.00 ~ 98.00	1,320 ~ 1,470
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	101.00 ~ 123.00	1,515 ~ 1,845
3	玉繭(double cocoon)		86.00 ~ 101.00	1,290 ~ 1,515
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	66.40 ~ 80.40	996 ~ 1,206
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	284.00 ~ 296.00	4,260 ~ 4,440
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	292.00 ~ 304.00	4,380 ~ 4,560
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	302.00 ~ 337.00	4,530 ~ 5,055
8	玉糸(doupion silk)	110d	296.00 ~ 316.00	4,440 ~ 4,740
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	28.60 ~ 36.60	429 ~ 549
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.70 ~ 58.10	761 ~ 872
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	42.80 ~ 44.30	642 ~ 665
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	33.10 ~ 38.10	497 ~ 572

注:1元=15円

2020年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	88.00 ~ 98.00	1,320 ~ 1,470
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	101.50 ~ 122.00	1,523 ~ 1,830
3	玉繭(double cocoon)		89.25 ~ 103.00	1,339 ~ 1,545
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	88.25 ~ 98.25	1,324 ~ 1,474
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	285.00 ~ 299.50	4,275 ~ 4,493
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	290.00 ~ 304.50	4,350 ~ 4,568
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	299.75 ~ 334.75	4,496 ~ 5,021
8	玉糸(doupion silk)	110d	302.00 ~ 322.00	4,530 ~ 4,830
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	29.63 ~ 36.50	444 ~ 548
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	52.38 ~ 57.50	786 ~ 863
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	42.50 ~ 44.38	638 ~ 666
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	33.38 ~ 38.75	501 ~ 581

注:1元=15円

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2020 年 7 月号 No.66 令和 2 年 7 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL:<http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず